

人工呼吸器にまつわる医療事故は、患者の死に直結し、たとえ死に至らなくても重大な傷害を引き起こす。人工呼吸器に関連した医療現場の状況は複雑で、人工呼吸器の種類の多様さ、それゆえの取り扱い方法の相違、換気モードや設定項目の名称の違いなどで混乱を来している。人工呼吸器を取り扱う中心となるのは看護師であるが、使用頻度の低い病棟の看護師は取り扱いの複雑さや不慣れから、特に敬遠しがちになる。頻繁に使用するICUの看護師でも混乱したり、間違ったケア方法がそのまま継続されたりとさまざまな問題を抱えているのが現状である。看護師教育の必要性も認識はされており、さまざまな文献もあるが、自施設で使用している人工呼吸器と違うモデルで書かれていると理解しづらくなったり、実際に使用するとき役に立たなかったりする。

多岐にわたる複雑な問題を 簡潔明瞭に

このDVDは、このような複雑で多岐にわたる問題に簡潔明瞭に答えてくれる教材である。人工呼吸療法や酸素療法を行なううえで最低限必要な知識をイラストと実写を組み合わせで見せるなど、重要なポイントがわかりやすく解説されている。基本的な呼吸生理の知識から、人工呼吸器の概説、安全管理と展開されており、初学者でも理解しやすい構成になっている。

ベテラン看護師にとっては、物足りないと感じるかもしれないが、最新の考え方が取り入れられており、気管チューブの仕組みやジャクソンリースの構造など、

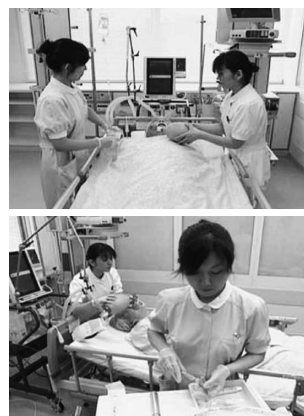
臨床では教育されていない部分の解説などが含まれており、新たな発見や知識の再確認につながるのではないだろうか。各セッションが短時間でまとめられているので、知りたいところだけを選択的に見ることができるのも忙しい看護師には使いやすいつくりになっている。

口腔ケアの方法は、多くの研究者がさまざまな方法を推奨しており、エビデンスが確立されていない領域であるため、方法や使用器材に意見のある人もいるかもしれないが、一つの考え方として参考にするとういと思う。

学びが深まる教育のサイクルに 組み込む

今年度から新人に対する臨床研修が努力義務化され、看護師の教育に注目が集まっている。集合教育において、このDVDを供覧し、その後実際にシミュレータ人形と人工呼吸器を使用して、同じようにケアを実施してみるという教育方法が有効だと思う。ICUにおける新人教育では、DVDを見て学んだ後に、患者ケアを実際に行ない、そしてもう一度DVDをみて、自分のケアを振り返る教育方法をするとうい学びが深まるのではないか。見て、行なって、振り返るというサイクルが、技術を獲得していく有効な手段で、そこにこのDVDが有効なツールとして役立つのではないかと思う。

先輩ナースが、後輩ナースに教えながら、解説するところがなんとも微笑ましく、こうして正しい知識が後輩に伝えられ、患者の安全が守られていけばよいなと思った。



看護実践能力向上シリーズ 医療事故を防ぐ 人工呼吸ケア

—— 基礎から安全管理まで

第1巻 基礎知識と酸素療法
(24分)

第2巻 人工呼吸療法と呼吸ケア
(43分)

第3巻 人工呼吸器の理解と安全
(60分)

DVD全3巻 各巻32000円
(本体価格+税)

監修
道又元裕

杏林大学医学部付属病院看護部長
卯野木健

聖路加看護大学成人看護学准教授
佐々木和子

東京臨海病院看護部長
指導

飯島香代子
東京臨海病院集中治療室師長
佐藤奈緒子

東京臨海病院集中治療室集中ケア
認定看護師・呼吸療法認定士

制作・著作・発行
株式会社ビデオ・バック・ニッポン
TEL. 03-3405-3176

人工呼吸器の取り扱いに新たな発見や 再確認ができるDVD教材

木下佳子 NTT 東日本関東病院副看護部長(教育担当)

評
DVD